

平成 29 年度定例会 6 月会議開会挨拶（平成 29 年 6 月 20 日）

平成 29 年度定例会 6 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

6 月 13 日開催の第 68 回北海道町村議会議長会定期総会の決議は、「地域間格差が広がる中、北海道の町村議会はあるべき地方自治の姿を目指し、多くの課題に真摯に取り組んできた。しかし、今日、期待された地方分権改革の先行きはおぼつかないばかりか、停滞感を否めないでいる。住民の手が届く自治の確立が望まれる。われわれ地方議会人は、今後とも地域住民の代表たる自覚をより一層深め、清新で活発な議会活動に努めるとともに、住民の負託に応えなければいけない。そして、次の課題解決に向け、われわれは総力を結集するものである。」とし、

- ① 町村議会の活性化と議会の権限の拡充
- ② 地方創生と地方分権改革の推進
- ③ 町村税財政基盤の確立等

15 項目の一般決議を北海道町村議会議長会の総意として満場一致で採択いたしました。

今、定期総会で、十勝議長会から「議会議員のなり手不足を解消するための環境整備」について議題が提出されました。町村議員選挙での無投票・定数割れの現状を検証し、強い危機感の中で熟慮しての提言であり、内容は、立候補の環境整備として

- ◎ 被選挙権者の位置づけを、労働基準法第 7 条(公民権行使の保障)において明確にし、休職・復職、議会活動のための休暇・変則勤務などの環境整備を図ること。
- ◎ 多様な人材の議会参加を促すために、選挙運動用の自動車使用・ポスターなどの選挙公営対象範囲の拡大を図ること。
- ◎ 若者・女性議員のなり手対策として、議会制度の位置づけ、社会的認識度の向上、労働環境の改善、社会保障制度の充実、少子高齢化対策、女性活躍社会等のための法的基盤整備を図ること。
- ◎ 議員のなり手不足を解消するため、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備、あるいは退職金等の支給について検討すること。

を強く訴えておりました。

又、高知県大川村の「町村総会」設置検討のニュースが大きく報道されております。過疎少子高齢化が進行する状況下で、厳しい背景として議員のなり手不足がありますが、町村総会設置条文の趣旨に沿うような極小自治体であるのか、直接民主制で活性化されるのか、数百人といえども限られた時間での採決が可能なのか、そもそも、持続するための議会改革など自ら手を尽くしてこられたのか疑義が尽きず、町村総会での議論の深化を期待することも現実的とは言えないと思慮いたします。

現実を考慮すると、「議会議員立候補の環境整備」は、正常な二元代表制の維持を目指す地方議会の喫緊の課題であり、当町議会としても、しっかり検証し、実現に向けての行動を、同胞とともに開始しなければと思っております。

出席者各位には、本 6 月会議の議事運営にご協力いただきますようお願い申し上げ、活発な討議が展開されますことを期待して開会の挨拶といたします。